



情報誌

F A R

75号

事務局：公益社団法人 日本放射線技術学会事務局内

〒600-8107 京都市下京区五条通新町東入東鋸屋町167 ビューフォート五条烏丸3F

TEL:075-354-8989. FAX:075-352-2556/http://www.jsrt.or.jp. Email: office@jsrt.or.jp

《ごあいさつ》

FAR会をお預かりして4年

前会長 藤田 透



AI 検索で「日本における最大の課題は？」と尋ねると「人口減少とそれに伴う少子高齢化」との回答がありました。これは 21 世紀に入った当初から騒がれていたことですが、一向に解決の糸口が見えません。近年の出生数が 70 万人足らずであるのに対して死亡者数が 160 万人超えということで、毎年 90 万人の減少となっている現実です。この結果、労働力不足や社会保障の維持、経済の衰退など種々の方面で深刻な影響を及ぼしています。私立大学の 59%は定員割れが続き、短期大学においては 90%超えということで、規模別格差・地域別格差が顕在化しているそうです。私立学校法人の半数以上で赤字転落となり「大学の淘汰・再編が避けられない状況」と聞きます。

2022 年 4 月に川上壽昭前会長から引き継いで 4 年間 FAR 会をお預かりしてきました。本会においても会員数の漸減は留まりません。入会案内のポスターを作成したり対象者に DM (メール) を送る等の対策により新入会者は一定数増加しましたが、ご逝去を含めた退会者数が毎年上回り 4 年間で 9 名の減となりました。

一方で、FAR 会事業は順調にまた好評のうちに展開できました。FAR 会誌は森 克彦編集委員長を中心とした編集委員会のご尽力で第 63 号から第 74 号まで発行しました。春秋の学術大会に合わせて企画した懇親会事業も小水満副会長の担当で円滑に開催できました。2022 年は石井 勉幹事のお世話で美濃吉 (横浜市)、森 克彦幹事のお世話で第一両国ホテル (東京都)、2023 年は佐藤幸光幹事のお世話で菜香新館 (横浜市)、藤田卓造代表幹事他のお世話で ANA クラウンプラザホテル花梨 (名古屋市)、2024 年は江島光弘幹事のお世話で生香園 (横浜市)、白石順二幹事のお世話でおもろ殿内那覇新都心店 (那覇市)、2025 年は平野浩志幹事のお世話で生香園 (横浜市)、小笠原克彦幹事のお世話ですすきの天然温泉湯香郷 (札幌市) にてそれぞれ開催していただきました。各学術大会の大会長および実行委員長や学会執行部・事務局からも参加いただき、毎回 24 名から 30 名の参加があることから学術大会参加の楽しみの一つになっています。今年も小川 清幹事のお世話でペッシェード口横浜 (横浜市)、梁川範幸代表幹事他のお世話で伊香保温泉および高崎市内で企画されています。多くの皆さんとご一緒できることを楽しみにしています。

FAR 会運営の屋台骨を支えていただいた神澤良明副会長 (総務委員長)、ML 担当の草山泰子副会長、また錦 成郎事務局長および寺本和子氏にも大変お世話になりました。お預かりした 4 年間を通じてご支援いただいた世話人の皆様、会員の皆様に心より感謝します。2026 年度からは江島光弘五代目会長が新しい風を吹かせていただくことになりました。FAR 会の益々の発展と会員の皆様のご健勝を祈念申し上げます。

内 容

- | | |
|---------------------------------------|------------|
| 1. ごあいさつ | 前会長 藤田 透 |
| 2. 2026 秋季 FAR 会懇親のタベ案内 | 代表幹事 梁川範幸 |
| 3. 第 82 回総会学術大会報告 | 実行委員長 谷畑誠司 |
| 4. 2026 春季 FAR 会懇親のタベ報告 | 代表幹事 小川 清 |
| 5. 会からのお知らせ | |
| 1) 庶務報告、2) 2025 年度事業報告、3) 2026 年度事業計画 | |
| 4) 新入会員紹介 | |
| 6. JSRT 情報 | |
| 7. 編集の小窓 | |

《2026 秋季 FAR 懇親の夕べ》案内

2026 秋季 FAR 会懇親の夕べの開催と有志の伊香保温泉泊り会

～ FAR 会の皆様と北関東の山並みでの一時 ～



代表幹事 梁川範幸
幹事 平野浩志

2026 年秋季大会での FAR 会のご案内を申し上げます。この度の当番幹事は、私の大先輩である平野浩志先生と私の二人で務めさせていただきます。前回の札幌とは歓楽街にしても食べ物にしても勝るものはありませんが、幹事二人制で前回の倍以上のおもてなしで皆様をお迎えしたいと思っておりますので、たくさんのご参加をお待ち申し上げます。

さて、高崎は江戸時代には中山道の宿場町として人々の往来でにぎわい、また高崎藩の城下町として発展してきました。明治以降は鉄道の結節点として近代化を牽引し、現在に至るまで交通と文化の交差点として重要な役割を担っております。こうした歴史の中で、多くの人材と知が行き交い、蓄積されてきた土地でもございます。

また、榛名の山並みに抱かれた自然と、上州ならではの気風に育まれたこの地は、どこか温かく、人と人との結びつきを大切にす風土を感じさせます。FAR 会の集いもまた、そうした高崎の歴史と風土に支えられながら、それぞれの時代に学会運営の中核を担われ、今日の JSRT 学術の発展の礎を築いてこられた皆様と、当時の思い出やご経験を心ゆくまで語り合ってください機会となれば幸いに存じます。皆様のご参加を心からお待ち申し上げます。

記

《2026 秋季 FAR 会懇親の夕べ in 高崎》

- ◆日時 2026 年 10 月 23 日（金） 18：00～21：00
- ◆場所 萬年屋 活粋すし 萬年屋 高崎店【公式】<https://takasaki-mannenya.owst.jp/>
高崎では老舗ですが人気店で大人数の予約が厳しい店です。料理抜群です。
高崎駅西口（学会会場 G メッセの反対側）徒歩 2 分
- ◆会費 10,000 円
- ◆申込締切日 2026 年 8 月 31 日（月）必着（本情報誌に同封のハガキでお申し込みください。）

《有志の伊香保温泉泊り会》

FAR 懇親の夕べの前日に、伊香保温泉泊り会を特別企画しました。生憎、紅葉の時期も重なり温泉宿の確保が難しく（高額ならばいくらでもあります）、人数が集まり次第に受付を終了させていただきますので、ご了承ください。なお、翌日に本会の秋季 FAR 会懇親の夕べを開催しますので、温泉宿で現地集合、現地解散とさせていただきますのでご了承ください。

- ◆日時 2026 年 10 月 22 日（木） 現地 17 時集合
- ◆場所 群馬大学 伊香保研修所 渋川市伊香保町伊香保字香湯 14-1
- ◆会費 15,000 円（予定）
- ◆申し込み 幹事のメールに申し込み下さい。先着順になります。n-yanagawa@tius.ac.jp
申し込みが完了したら、返信メールを致します。申し込みは 6 月 1 日から

ご注意：《2026 秋季 FAR 会懇親の夕べ in 高崎》のお申し込みは、本情報誌に同封のハガキにてお願いいたします。また、《有志の伊香保温泉泊り会》のお申し込みは、代表幹事の梁川先生までメールにてお申し込みください。お間違えのないようお願い申し上げます。

《第 82 回総会学術大会》報告

第 82 回日本放射線技術学会総会学術大会（JRC2026）開催報告

実行委員長 谷畑誠司



FAR 会の皆さまには、平素より本学会の活動に温かなご支援とご指導を賜り、心より御礼申し上げます。このたび、パシフィコ横浜にて開催された第 82 回日本放射線技術学会総会学術大会（JRC2026）は、現地開催（4 月 16 日～19 日）に Web コンテンツを加えたハイブリッド形式、ならびに会期後のオンデマンド配信（4 月 20 日～5 月 14 日正午）を含め、盛会のうちに終了しましたことをご報告いたします。参加登録者数は 4,810 名、現地参加は 4,073 名と参加登録者の 9 割近くが現地に参加して頂ける状況でございました。（4 月 19 日 11 時時点）また、演題登録は一般演題 403 演題、ICRPT120 演題、計 523 題と多くの演題を登録頂きました。

今大会では予稿集を完全電子化し、冊子の事前配布は行わず、Web 上での閲覧を基本としました。オンデマンドでは一般演題の CyPos スライドに加え、教育講演・専門部会企画・教育委員会企画・JSRT-JSMP 合同プログラム等の収録動画、専門部会講座の音声付きスライドなどを提供し、現地参加が難しい方にも学びの機会が広がるよう昨年同様に運用しました。また、日本医学物理学会との合同国際会議である The 5th ICRPT を引き続き同時開催し、国際化の流れを体感できる場を提供いたしました。

本大会のテーマは「Radiology Connectome」とし、放射線医学を核に「臨床現場・医療スタッフ・科学技術・世界」へ広がる“つながり”を、学術と実務の双方で体感できる場を目指しました。臨床の最前線では、診療の質と安全を守りながら、限られた人員・時間で最適な検査・治療を提供することが求められています。線量管理、医療安全、機器管理、データ活用、医療 DX やサイバーセキュリティへの備えなど、放射線部門が担う責務が広がるなか、生成系 AI / 大規模言語モデル（LLM）の台頭は、技術の「使いこなし」と同時に「評価する目」「責任ある運用」をこれまで以上に重要にしました。

運営面では、参加される皆さまの負担軽減にも配慮し、初日（4 月 16 日：木曜日）は午前からプログラムを開始、最終日（4 月 19 日：日曜日）は午前中で主要プログラムを終え、合同閉会式および Farewell Reception へつなげる日程とした他、会期中は合同開会式・合同特別講演・合同シンポジウム等の JRC 合同企画を軸に、多職種・多領域が交差する議論を深めました。

合同シンポジウム 1 では LLM・生成系 AI がもたらす変化を他診療科の視点も交えて展望し、合同シンポジウム 2 「AI Challenge in JRC2026」では、コンペの概要と結果の共有に加え、受賞グループが工夫点や解決法を発表する場を設け、初学者も含めた学びと交流を促進しました。さらに合同シンポジウム 3 「核医学治療の最前線」では、核医学治療の最新動向を俯瞰し、技術と臨床の接点を再確認する機会となりました。

また「明日から使える学び」を重視し、実践型企画を充実させました。ハンズオンでは、簡易線量計作成セミナーにより線量の“見える化”を体験いただくとともに、医用画像モニタ精度管理ハンズオンでは表示品質管理の要点を実機で確認し、施設内運用へ落とし込む具体策を整理できる場としました。加えて、若手交流ワークショップでは、研究参画やキャリア形成をテーマに世代や所属を越えて悩みや工夫を共有し、臨床と研究をつなぐ現実解を一緒に探りました。こうした企画を通じて、研究の入口を広げ、現場の持続可能性を支える人材育成に寄与できたものと考えております。

最後に、本大会を支えてくださった本部理事会、各委員会・専門部会、関連団体の皆さま、そして常に温かくご助言くださる FAR 会の先生方に、実行委員会一同、深く感謝申し上げます。

今後も本学会が現場の疑問を研究へ、研究成果を現場へ還元できる循環の中心となれるよう、引き続きご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

【実行委員会】

大会長：林 秀隆（量子科学技術研究開発機構）

実行委員長：谷畑誠司（量子科学技術研究開発機構）

実行委員：北村一司（天理よろづ相談所病院）、松原孝祐（金沢大学）、関 将志（北里大学病院）、山品博子（福島県立医科大学）

ICRPT 担当実行委員：佐藤英介（順天堂大学）

当日実行委員（事務局担当）：八幡優希（東京 D タワーホスピタル）、東海芽生（東京女子医科大学病院）



第 82 回日本放射線技術学会総会学術大会 実行委員会

《2026 春季 FAR 懇親の夕べ》報告

JSRT 第 82 回総会学術大会時の FAR 会懇親の夕べのご報告

代表幹事 小川 清

- ・ 日 時：2026 年 4 月 18 日(土)19:00～21:15
- ・ 場 所：ペッシェドーロ横浜店、みなとみらい 2-3-1 クイーンズタワー A 1 F
- ・ 参加者：

藤田 透、神澤良明、江島光弘、小水 満、石田隆行、江口陽一、小寺吉衛、平野浩志、草山泰子、船橋正夫、内山幸男、錦 成郎、根岸 徹、梁川範幸、川田秀道、本間龍夫、前田幸一、森 雅嗣、市田隆雄、岩永秀幸、林 秀隆、谷畑誠司、松原幸祐、辰己大作、飯森隆志、筒井光代、寺本和子、宇高小波、信田絵美、小川 清 (参加者 30 名) (敬称略)

学会期間中のご多忙の折りにもかかわらず、「2026 春季 FAR 懇親の夕べ」にご参加いただきました皆様に、厚く御礼申し上げます。

会は江島会長の挨拶に始まり、神澤先生による乾杯の発声とともに華やかに幕を開けました。今回はイタリアンレストランを会場とし、皆様にお料理とお酒を心ゆくまで楽しんでいただけるよう準備してまいりました。30 名程度で一体感のある空間を確保できる会場は限られており、当日は少々にぎやかすぎると感じられた場面もあったかも存じますが、お酒が進むにつれて各テーブルで会話に花が咲き、主催者として安堵しました。宴中には、石田代表理事はじめ多くの方々よりスピーチをいただいたほか、82 回総会学術大会の林大会長からもご挨拶を賜りました。加えて、「2026 秋季 FAR 懇親の夕べ」の梁川代表幹事、平野幹事より「秋の集い」についてご案内いただき、参加を呼びかけていただきました。最後は小川 清代表幹事による挨拶で、盛況のうちに閉会いたしました。次回の集いでも皆様とお会いできることを楽しみにしております。終了後は店外にて集合写真を撮影し、秋の再会を約束し散会しました。最後に「懇親の夕べ」をお手伝いいただきました草山泰子副会長、根岸 徹世話人、そして適切なお助言を頂きました皆様に感謝申し上げます。



2026 春季 FAR 懇親の夕べ 集合写真

《会からのお知らせ》

2026 年度 第 1 回世話人会議の開催（敬称略）

日 時：2026 年 4 月 18 日（土）15:00～15:40

場 所：パシフィコ横浜会議センター 411 会議室

出席者：今井方丈、内山幸男、江口陽一、江島光弘、小川 清、小寺吉衛、小水 満、草山泰子、坂本 博、白石順二、錦 成郎、平野浩志、本間龍夫、前田幸一、梁川範幸 合計 16 名

オブザーバ：藤田 透、神澤良明

開会に先立ち前会長 藤田 透、前副会長（総務委員長）神澤良明から退任の挨拶があった。

【議 題】

1. 役員更改年に伴う新役員の選任

1) 2026 年度からの会長の互選

出席世話人の互選により江島光弘を新会長に選任した。（規約第 9 条 3 項）

2) 会長より下記の指名・委嘱があった（規約第 9 条 4 項）

(1) 副 会 長：江口陽一、小水 満、草山泰子、小寺吉衛

(2) 会 計 監 査：前田幸一

(3) 庶務・会計：錦 成郎

(4) 各 委 員 長：編集委員長：江口陽一、総務委員長：小水 満

3) 名誉会長・顧問が承認された（規約第 9 条 6 項）

(1) 名 誉 会 長：藤田 透

(2) 顧 問：川上壽昭、神澤良明、山田和美

4) 世話人交代

隅田博臣（退任）⇒岩永秀幸、森 克彦（退会）⇒坂本 肇 が承認された。

2026～2029 年度世話人

今井方丈、岩永秀幸、上田克彦、内山幸男、江口陽一、江島光弘、小笠原克彦、小川 清、川田秀道、小寺吉衛、小水 満、草山泰子、堀田勝平、坂本 肇、坂本 博、佐藤公悦、佐藤幸光、白石順二、錦 成郎、根岸 徹、平野浩志、本間龍夫、前田幸一、梁川 功、梁川範幸

2. 会務報告(2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)について事務局長より報告し承認を得た。

1) 庶務報告

(1) 会員状況 (2026 年 3 月 31 日現在)

会 員 数 : 82 名 (内名誉会員 21 名)

(2) 新規入会者 : 西出裕子 (2025年 4月 2日入会)

川田秀道 (2025年 7月 9日入会)

坂本 博 (2026年 2月 5日入会)

岩永秀幸 (2026年 2月 8日入会)

(3) 退 会 者 : 山本義憲 (2025年 5月23日逝去)

萩原 明 (2025年10月 9日逝去)

森 克彦 (2026年 1月19日自己退会)

富吉 司 (2026年 2月 3日自己退会)

漢那憲聖 (2026年 3月31日自己退会)

福西勝司 (2026年 3月31日自己退会)

(4) 名誉会員の推戴

規約第 4 条「名誉会員」の定めに基づき下記 2 名の方に推戴状を送付した。

山田和美、三代 忠 (参考 : 2026 年 1 月 1 日現在 88 歳(数え年)) (2026 年 1 月 1 日付)

3. 2025 年度事業報告を総務担当小水より報告し承認を得た。

1) 第 1 回世話人会の開催

日 時 : 2025 年 4 月 12 日 (土) 15:00～16:00

場 所 : パシフィコ横浜会議センター422 会議室

出席者 : 今井方丈、内山幸男、江島光弘、小笠原克彦、小川 清、神澤良明、草山泰子、小水 満、佐藤幸光、隅田博臣、錦 成郎、平野浩志、藤田 透、本間龍夫、前田幸一、森 克彦 計 16 名

2) 第 2 回世話人会の開催

日 時 : 2025 年 10 月 17 日 (金) 15:30～17:00

場 所 : 札幌コンベンションセンター104 室

出席者 : 今井方丈、小笠原克彦、江島光弘、神澤良明、草山泰子、小水 満、佐藤公悦、白石順二、錦 成郎、平野浩志、藤田 透、森 克彦 計 12 名

3) 2025 年度第 1 回運営委員会・総務委員会合同委員会 の開催

日 時 : 2026 年 1 月 15 日 (水)

場 所 : JSRT 事務局

出席者 : 神澤良明副会長、小水 満副会長、草山泰子副会長

欠席者 : 藤田 透会長、森 克彦副会長

議 題 : 2026 年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について

- 4) 春季懇親の夕べの開催（代表幹事：平野浩志）
 日 時：2025年 4月 12日（土）19：00～21：00
 場 所：生香園新館（横浜市中区太田町 5-56 TEL045-681-4121）
 会 費：10,000 円
 参加者：29 名
- 5) 秋季懇親の夕べ（代表幹事：小笠原克彦） の開催
 日 時：2025年 10月 17日（金）18時～21時
 場 所：すすきの天然温泉・湯香郷/ジャスマック・プラザ・ホテル
 〒064-8533 札幌市中央区南 7 条西 3 丁目
 会 費：10,000 円
 参加者：28 名
- 6) 情報誌の発行 編集担当江口より報告し承認を得た。
 2025年 5月15日72号発行 全12頁
 2025年 9月15日73号発行 全 8頁
 2026年 1月15日74号発行 全12頁
- 7) 会計報告を事務局より報告し承認を得た。
 2025 年度収支計算書

収入の部 (2025年 4月 1日～2026年 3月 31日)

科 目	予 算 額	決 算 額	備 考
前年度繰越	1,171,263	1,171,263	
年度会費	134,000	128,000	会員数：84名(内 名誉会員 21名)
新入会分	10,000	8,000	新入会：4名(西出裕子、川田秀道、坂本 博、岩永秀幸)
寄 付 金	30,000	0	
広 告 料	0	0	
懇 親 会 費	500,000	570,000	春の夕べ：290,000 円、秋の夕べ：280,000 円
雑収入(利子等)	10,000	4,316	物故者次年度以降会費 4,000 円、 銀行利子 4/1：116 円、10/1：200 円
合 計	1,855,263	1,881,579	

支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	備 考
情報誌作成費	30,000	30,000	情報誌 72、73、74 号編集費
懇親会経費	500,000	570,000	春の夕べ：290,000 円、秋の夕べ：280,000 円
会 議 費	30,000	0	
運 営 旅 費	50,000	17,720	情報誌 72、73、74 号発送作業に係る交通費
通信郵送費	70,000	44,240	メーリングリスト年会費 5,500 円、 情報誌 72、73、74 号発送作業に係る発送費
事務用品費	60,000	37,426	情報誌 72、73、74 号印刷代、用紙代等 勧誘ポスター(50 枚)4,990 円、封筒 600 枚：11,570 円

新規事業費	10,000	0	
雑費	5,000	947	メイリングリスト振替手数料、会費振込手数料
(払込手数料等)	5,000	913	
次年度繰越金	1,095,263	1,180,333	
合計	1,855,263	1,881,579	

8) 会計監査報告

2025年度の会計監査結果を前田幸一会計監査より報告され承認を得た

会計監査報告書	
FAR会 藤田透 会長 殿	2026年 2月 20日 FAR会 会計監査 前田幸一
FAR会の2025年度会計監査について下記のように報告いたします。	
記	
私、前田幸一は2025年度収支計算書・会費納入台帳・預金通帳・振替貯金・現金出納帳・及び領収書などの提出を受け、詳細に精査いたしました。	
収入項目及び金額・支出項目及び金額など記載に間違いなく管理されていることを報告いたします。	
以上	

4. 2026年度事業計画を総務担当小水より報告し承認を得た。

1) 第1回世話人会を開催

日時：2026年4月18日(土) 15:00~17:00

場所：パシフィコ横浜会議センター411 会議室

2) 第2回世話人会

日時：2026年10月23日(金) 15:00~17:00

場所：Gメッセ群馬 2階 交流室 206号室

3) 第1回運営委員会

日時：2026年4月18日(土) 15:45~16:15 第1回世話人会終了後直ちに開催する。

場所：パシフィコ横浜会議センター411 会議室

議題：委員会委員等の承認など

4) 第2回運営委員会・総務委員会合同委員会

日時：2027年1月中旬(予定)

場所：JSRT事務局

議題：2027年度事業計画(案)並びに収支予算(案)の計画等

5) 2026春季FAR懇親の夕べ(代表幹事：小川 清)

日時：2026年4月18日(土) 19:00~

場所：ペッシェドー横浜店 (TRATTORIA PESCE D'ORO)

横浜市西区みなとみらい 2-3-1 クイーンズタワーA 1F

会費：10,000円

- 6) ～特別企画～《有志の伊香保温泉泊り会》
 伊香保温泉宿泊のご案内（代表幹事：梁川範幸、幹事：平野浩志）
 日 時：2026年10月22日（木）16:00～（現地集合、現地解散）
 場 所：群馬大学伊香保研修所（渋川市伊香保町伊香保字香湯 14-1）
 電 話：0279-72-4605
 保養所のため、寝具などは全て各自で行う。アメニティは各自用意する。
 宿泊費：15,000円（1泊2食付）
 申込先：右記メールアドレスに、n-yanagawa@tius.ac.jp
 氏名、年齢、連絡先の電話番号とメールアドレス、移動手段（予定）を記載
 して申込みください。宿泊受付案内は、メールで返信いたします。
 申込期間：2026年6月1日（水）～（定員になり次第締め切り）
 アクセス：群馬バス直通バス「伊香保ライナー」
- 7) 2026 秋季 FAR 懇親の夕べ（代表幹事：梁川範幸、幹事：平野浩志）
 日 時：2026年10月23日（金）18:00～
 場 所：高崎市内（萬年屋）
 会 費：10,000円
- 8) 2027 春季 FAR 懇親の夕べ（代表幹事：根岸 徹）
- 9) 2027 秋季 FAR 懇親の夕べ（代表幹事：岩永秀幸、幹事：隅田博臣）
- 10) 情報誌関係 編集担当江口より報告し承認を得た。
 2026 年度情報誌・計画案
 情報誌第75号を 2026年 5月15日発行予定
 ＊原稿締め切り予定：2026年 4月15日
 情報誌第76号を 2026年 9月15日発行予定
 ＊原稿締め切り予定：2026年 8月15日
 情報誌第77号を 2027年 1月15日発行予定
 ＊原稿締め切り予定：2026年12月15日
- 11) 2026 年度収支予算(案)を総務担当小水から報告し承認を得た。

収入の部 (2026年4月1日～2027年3月31日)

科 目	前年度予算額	予 算 額	備 考
前年度繰越	1,171,263	1,180,333	
年度会費	134,000	122,000	61名 会員数82名(内 名誉会員21名)
新入会分	10,000	10,000	5名
寄 付 金	30,000	30,000	
広 告 料	0	0	
懇 親 会 費	500,000	800,000	春の夕べ250,000 10,000×25名 秋の夕べ250,000 10,000×25名 懇親の夕べ～特別企画300,000 15,000×20名
雑収入(利子等)	10,000	10,000	
合 計	1,855,263	2,152,333	

支出の部

科 目	前年度予算額	予 算 額	備 考
情報誌作成費	30,000	30,000	情報誌 75 号、76 号、77 号編集費
懇親会経費	500,000	800,000	春・秋各々25名 秋特別企画 20名
会 議 費	30,000	30,000	
運 営 旅 費	50,000	50,000	情報誌 75 号、76 号、77 号発送作業に係る交通費
通信郵送費	70,000	70,000	メーリングリスト年会費、手数料 情報誌 75 号、76 号、77 号送料等
事務用品費	60,000	60,000	情報誌 75 号、76 号、77 号印刷代、用紙代等
新規事業費	10,000	10,000	
雑 費	5,000	5,000	
(払込手数料等)	5,000	5,000	
次年度繰越金	1,095,263	1,092,333	
合 計	1,855,263	2,152,333	

12) その他

(1) 新入会員加入策について

昨年に引き続き FAR 会の趣旨を説明し入会を促す。

(2) 現在使用中のメーリングリストについて費用対効果の検討を行う。

以上

2026 年度 第 1 回運営委員会 議事録 (敬称略)

日 時：2026 年 4 月 18 日 (土) 15:45～16:15 第 1 回世話人会終了後直ちに開催した。

場 所：パシフィコ横浜会議センター411 会議室

出席者：江口陽一、江島光弘、小川 清、小寺吉衛、小水 満、草山泰子 合計 6 名

【議 題】

1. 2026 年度 第 1 回世話人会での、2026～2029 年度の会長の選任に伴い、
会長より指名された委員会委員の承認 (規約第 5 項)
 - 1) 江島光弘会長は 2026 年度からの下記委員会委員を承認した
 - (1) 副 会 長：江口陽一、小水 満、草山泰子 (広報担当)、小寺吉衛 (懇親会担当)
 - (2) 会 計 監 査：前田幸一
 - (3) 庶務・会計：錦 成郎
 - 2) 江島光弘会長は 2026 年度からの下記世話人および各委員会の長を委嘱する。
 - (1) 世 話 人：岩永秀幸、坂本 肇
 - (2) 編集委員長：江口陽一、総務委員長：小水 満
 - 3) 江口陽一編集委員長は、下記のとおり編集委員を指名し、運営委員会の承認を得た。
副委員長：小川 清、委員：坂本 肇、根岸 徹、山田和美 (顧問)
2. FAR 会業務が遅滞なく遂行を行うことを確認した。

以上

5. 新入会員紹介

(近況、趣味の記述内容は入会申込書に記載されたものです。)



氏名 坂本 博 (サカモト ヒロシ) (2026年2月5日入会)
生年月日 1967年6月14日生 (男)
住所 宮城県仙台市
メールアドレス hiroschi.sakamoto.c6@tohoku.ac.jp
近況 東北大学の研究機関で業務を行っています。
趣味 ドライブ、ガーデニング



氏名 岩永秀幸 (イワナガ ヒデユキ) (2026年2月8日入会)
生年月日 1963年9月6日生 (男)
住所 東京都江東区
メールアドレス hiwa1073@gmail.com
近況 東大病院の技師長を2年前に退任し、現在は、同院の経営戦略課に所属して、病院経営を医療職の立場から支援をしています。



《JSRT 情報》

『第54回秋季学術大会』 大会テーマ：「Scrap and Build: Shaping the Future of Radiological Science and Technology」

大会長：武井宏行 (つくば国際大学)
会期：2026年10月23日 (金) ～25日 (日)
会場：Gメッセ群馬 (高崎市)

『第83回総会学術大会』 大会テーマ：「Q's in Radiology」

大会長：對間博之 (神戸常盤大学)
会期：2027年4月15日 (木) ～18日 (日)
会場：パシフィコ横浜 (横浜市)

《編集の小窓》

FAR 会情報誌 75 号をお届けいたします。情報誌の発行につきましては平素よりご支援いただきありがとうございます。引き続きお力添えの程よろしくお願いいたします。

現在の土地に住み始めてから、しばらくお参りしていなかった地元の南大沢八幡神社に、久しぶりに参拝に行きました。神社は京王相模原線の南大沢駅から徒歩約 5 分余りのなだらかな丘の中腹に木々に覆われてあります。丘の上には東京都立大学の南大沢キャンパスが広がっています。その日は、思いもよらず、人形浄瑠璃の三番叟を奉納しているところに出会うことができました。奉納を見ながら、この八幡神社の長い歴史と南大沢の人々の暮らしが育んだ文化を感じたような気がしました。



南大沢八幡



三番叟の奉納

八幡神は、祭られている日本の神の中で、その数が一番多いとされ、八幡信仰の源は、大分県宇佐市に鎮座する宇佐神宮にあります。宇佐神宮は全国に 4 万数千社とも言われる八幡社の総本宮で、八幡大神（応神天皇）・比売大神・神功皇后をお祀りしてあります。社殿の創建は神亀 2 年（725）と伝えられ、古くから国家鎮護の神として皇室や武家から厚く崇敬されてきました。奈良時代には東大寺大仏造立の守護神として勅使が遣わされるなど、その神威は広く知られ、のちに全国へ八幡信仰が広がる基となったと思われま



宇佐神宮

南大沢八幡神社は、天正 7 年（1579）に創建されたと伝えられます。戦国時代の末期にあたるこの頃、武蔵国の村々は戦乱や疫病、度重なる自然災害に悩まされ、暮らしは不安定であったとされます。村人たちは、病気の流行を避け、地震や大雨などの災いが起こらぬよう願いを込め、地域の守り神として八幡神を祀ったと考えられています。当時の時代背景をみると、創建から 3 年後の天正 10 年（1582）は、織田信長が本能寺で討たれた年にあたり、日本全体が大きく揺れ動いた時期でした。激動の時代を背景に、地域の安寧を願う祈りがこの神社にも込められていたことがうかがえます。

多くの願いが込められたであろうこの神社が、明治 13 年（1880）正月には、社殿を焼き尽くす大火に見舞われました。境内の大きなオオツクバネガシ（赤檜）も焼け、枯れたと思われましたが、のちに再び芽吹き、人々はその生命力（樹齢 600 年）に驚き「不死身のアカガシ」と呼ぶようになりました。昭和 46 年（1971）に八王子市の天然記念物に指定されて、今もその姿見ることが出来ます。

多摩ニュータウンの都市計画では、昭和 41 年（1966）から大規模な宅地造成が進められました。京王相模原線の延伸は昭和 63 年（1988）、東京都立大学の移転は平成 3 年（1991）、アウトレットパーク平成 20 年（2008）等の商業施設の整備などにより、現在の都市的な景観が形成されました。南大沢八幡神社は、過去と現在をつなぐ歴史の節点として、地域の記憶を今に伝える存在となっています。

江島光弘、記

FAR 情報誌 No. 75 (非売品)

発行日 2026 年 5 月 15 日

発行者 江島光弘

編集委員会

江口陽一 (委員長)

小川 清 (副委員長)

坂本 肇 (委員)

根岸 徹 (委員)

山田和美 (顧問)